

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-132	14-040	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名（原題／訳）		
Antecedent predictors of children's initiation of sipping/tasting alcohol. 子どもが飲酒を開始することの先行予想因子		
執筆者		
Donovan JE, Molina BS.		
掲載誌		
Alcohol Clin Exp Res. 2014 Sep;38(9):2488-95. doi: 10.1111/acer.12517.		
キーワード		PMID
子ども、飲酒の開始、予想因子		25159887
要 旨		
<p>目的： アルコール飲料の味見をすることが子どもたちにとっての最も早い飲酒の習慣の 1 つである。しかし、この習慣に関する資料は少ない。本研究は、問題行動との精神的な傾向を反映する因子を含め縦断的に発展させ、アルコール飲料の味見での飲酒の先行予測因子を明らかにすることである。</p> <p>方法： 対象はペンシルバニア州アルゲニー郡の 8 歳～10 歳の 452 人の子ども（少女 238 人）とその家族を対象とした。ランダムに選択した電話番号に電話をする方法と対象年齢の者を直接募集する方法によってリクルートした。子どもたちにはコンピュータ支援のインタビューを受け、ベースライン時に集められた先行予測因子が 12 歳になるまでの小児期においてアルコール飲酒の味見をしだすことの予測をするかについて調査した。</p> <p>結果： 94 人の子どもたちがベースライン調査後、12 歳になるまでの間に宗教的な儀式以外で味見などの飲酒をしていた。飲酒の開始は、ベースライン時の問題行動の精神的傾向と関連する要因とは関係していなかった。過去の横断研究の報告されているように最も多いアルコール飲料の味見は、両親が子どもへそうすることを認めることであった。両親が子供たちへ味見を認めることと両親の現在飲酒が子ども達が味見をすることと関連した。</p> <p>結論： 今回の縦断的な研究は、これまでの横断研究と同様の結果であった。若い子どもがアルコール飲酒の味見は両親が飲酒し、味見を認めることと関連していた。しかし、問題行動につながる精神的な傾向との関連は見られなかった。</p>		